

平成28年1月1日

第81号

鵜戸

謹賀新年



887-0101
宮崎県日南市宮浦3232番地
0987-29-1001 FAX0987-29-1003
鵜戸神宮ホームページ
<http://www.udojingu.com/>

発行者兼編集者
鵜戸神宮社務所

謹んで新春のお慶びを
申し上げます



宮司 本部雅裕

鵜戸を訪れた人々② 柳田國男

鵜戸神宮宮司 本部雅裕

平成二十八年の始めにあたり、御皇室の愈々のお栄えを祈り上げます。

また、氏子崇敬者の皆様には、当神宮に変はらぬご崇敬の誠を捧げていただき、まことに有り難く、厚く御礼申し上げます。本年も御平穩に亘らせられますやうお祈り申し上げます。

さて、今回のこの欄は日本民俗学の創始者であり、國學院大學教授もお勤めになった柳田國男翁についてご紹介致します。もともと柳田は農商務省の役人ですが、明治四十一年七月に鵜戸神宮に参

詣したときは、法制局参事官、兼宮内書記官の高級官僚でありました。鵜戸参拝ののち、七月十三日に宮崎県椎葉村を訪ね村長の案内で、山村の椎葉に伝はる狩獵、狩りの言葉、その作法、焼き畑、作物の栽培などの故事を採集し、翌年にはそれを『後狩詞記』^{のちのかりこしほのき}として纏めました。日本民俗学最初の書物です。民俗学の始まりは岩手県遠野を舞台にした『遠野物語』と思はれておますが、実はその前年に出版したこの『後狩詞記』こそがその嚆矢と言つていいでせう。

ところで、柳田は椎葉村に入る前、熊本、鹿児島を経て今の日南市飢肥に泊まり、七月六日に鵜戸神宮に参詣し、社務所に宿泊してあります。当然今はない、江戸時代後期文政年間に建てられたといふ茅葺きの建物です(写真)。鵜戸では一泊の予定でしたが、あいにく次の日、当地方は豪雨に見舞はれて出るに出不れず、やむなく二泊せざるを得なかったやうです。次の八日には雨もやうやく止み、宮崎から日向を経て椎葉に向かふことができました。この間各地で、農政経済の講話もこなしてあります。

柳田は、二日間滞在した鵜戸で次の一首を詠み、「自選歌集」(『定本柳田國男集』第二十六卷)に残してあります。

明治四十一年の夏鵜戸神宮にとまりて
人の世にいまはかよはぬわたつみの
みや路こひしき浪のおとかな

神代の遠い昔、豊玉姫の命がお産のため鵜戸にをられて、ふるさとの海神の宮へ行き来もできないご心情を「みや路こひしき」と表現したのでせう。柳田自身も、豪雨で二日間も足止めされ、日向灘の荒波を聞きつつ都から遠く離れた鵜戸で過ごした身の上から心寂しくなり、豊玉姫の命と同様「都路がこひしく」なつてゐたのかも知れません。神々の世界が今の現に生きる鵜戸、靈氣漂ふ神窟に、どうぞ今年もまたお揃ひでござ参拝下さい。

(参考) 牛島盛光著『日本民俗学の源流』



江戸時代後期文政年間に建てられた茅葺の旧社務所

抜穂祭

八月三日午前十時三十分より、御神田において古式ゆかしい伝統行事「抜穂祭」を、役員、氏子を始め関係者多数の参列をいただき、斎行しました。

稲の稔りに感謝する祝詞奏上の後、JAはまゆう女性職員と巫女が抜穂の儀を刈女として奉仕し、御神前に供へました。

祭典終了後には、鵜戸小中学校児童が氏子の指導のもと、慣れないながらも楽しく稲刈りを奉仕し、無事終了しました。



明治祭・秋の縁日大祭・誕生感謝奉告祭

十一月三日午前十時三十分、多数の参列を得て斎行しました。

明治祭は近代日本の礎をお築きになられた明治天皇をたたへ、ご誕生の日をお祝ひする祭典です。

縁日大祭は、旧暦三月の祭礼日に農業、漁業、商工業に従事する人々で賑わったと伝えられ、この事を奉祝する為、春と秋に執り行つてをります。

誕生感謝奉告祭は、鵜戸神宮敬神婦人会員の誕生を神様に感謝し、併せて健康長寿を祈願する祭典です。

祭典後、舞楽「蘭陵王」・「豊栄の舞」・「鵜戸さん獅子舞」を奏舞し、参拝者も楽しさうに見学して頂きました。



大被式

六月三十日午後四時より氏子、崇敬者の参列を頂きましたが、雨のため儀式殿で斎行しました。

どなたでもご参列出来ますので、社務所へご連絡下さい。

また、遠方等の諸般の事情で参列が出来ない方は、当神宮より人形・車型・ペット型をご送付し返送いただければ、神事を執り行ひますので、お気軽にお問ひ合はせ下さい。



新嘗祭【新穀感謝祭】

暦の上では小雪とはいへ、最高気温二十一・六度の汗ばむ気候となり、午前十時三十分より責任役員、氏子総代をはじめ約百七十名の参列のもと、盛大裡に斎行されました。

また、鵜戸小中学校三・四年生の児童十二名が昭和五十年より受け継がれてきた子供神楽を奏舞しました。

- 子供神楽奉仕者
- 榊の舞 中原笙汰・高橋隼生・外山滉大
 - 献穀の舞 池田朱里・清竜太郎・高橋直太郎
 - エビスの舞 山根麻耶・蛭田和香
 - 鈴の舞 高嶺楨那・根木ひなた・濱田ひなた
- 湯浅晴海



五穀豊穰に感謝し、御神前にお供へ頂いた奉納品

第七十三回表千家同門会全国大会宮崎大会

十一月五日と六日に、儀式殿において同会のお茶席が開催され、五日には表千家十四代家元千宗左宗匠も来宮されました。

また、全国各地から大会参加者約五百名が来宮され、社頭も賑いました。



写真提供 表千家同門会

奉納

新富町 菊地 清様
題名「世界の平和を願う」

この作品は、約三十年間全国各地から収集したり、ご友人から贈られた名貝殻を約一万個余り使って、世界の平和が益々訪れますやうにと願ひ創作されました。

また、菊地様には以前にも貝で作った干支置物なども奉納いただきました。



第41回宮崎県美術展入選作品 2015/11/07

第七回鵜戸さん寄席

十月十九日、午後二時より「第七回柳家さん枝奉納落語会」が開催されました。今回は、「お菊の皿」と「鰻の幫間」を口演いただき、盛況のうち終了しました。第一回より、毎回楽しみに来場されてみる方も多く、鵜戸さんの恒例行事となっております。

次回の寄席を観覧ご希望の方はご連絡下さい。開催日が決定次第、ご案内します。



敬神婦人会研修旅行

十月二十八日、二十九名で鵜戸神宮を出発し、日向市の大御神社と都農町の都農神社を参拝しました。

途中、神武天皇の御東征の地で有名な美々津も見学し、昼食には磯料理を堪能しました。

毎回楽しみに参加される会員も多く、有意義な研修となりました。



海上自衛隊掃海隊安全祈願祭



十一月十九日、掃海隊群指令の岡浩海将補を始め三十二名が来宮され、運行安全・艦船安全の祈願を執り行ひ、二十日から三十日まで日向灘沖で訓練が行われました。

天真会剣武奉納

七月十九日、剣法発祥の地である当神宮で、剣武天心流天真会代表理事の青木宏之様と門人の皆様により剣武奉納をいただきました。



社務日誌抄

- 1月1日 歳旦祭
- 1月3日 元始祭
- 1月27日 大峰蛇之倉七尾山山口神直氏他参拝 (以降五回)
- 2月1日 例祭
- 2月2日 四半的弓道大会
- 2月2日 国交省環境安全課池田課長他七名参拝
- 2月5日 天台宗仏教青年会八名参拝
- 2月6日 皇學館大學山元理事参拝
- 2月8日 広島東洋カープ優勝祈願参拝
- 2月10日 播種祭
- 2月10日 稲荷神社境内に桜が咲く
- 2月11日 紀元祭
- 2月20日 第六回鵜戸さん寄席
- 2月22日 第62回剣法発祥鵜戸山顕彰剣道大会 (北郷アリーナ・関係者含め九一三名参加)
- 2月26日 鵜戸神宮責任役員・氏子総代研修旅行
- 2月28日 伊勢の神宮他参拝
- 2月17日 祈年祭
- 3月1日 消防訓練
- 3月4日 栃木県鹿島神社小幡宮司他参拝
- 3月5日 御神田清祓祭
- 3月11日 外国人旅行業協会参拝
- 3月13日 國學院久我山高校園清教頭他生徒含め一六〇名参拝
- 3月15日 宮崎ライドのチェックポイントとして、觀光駐車場使用
- 3月20日 御田植祭
- 3月21日 国交省港湾局産業課高田課長他七名参拝
- 3月24日 宮内庁陵墓調査室土屋氏参拝
- 3月25日 敬神婦人会、ジャカラング広場植栽
- 3月28日 春の縁日大祭
- 3月29日 第29回シャンシャン馬道中唄全国大会 決勝
- 4月7日 第29回シャンシャン馬道中再現
- 4月7日 総務省太田大臣補佐官他四名参拝
- 4月8日 天皇皇后両陛下帛琉共和国御渡航行幸啓 安泰祈願祭
- 4月26日 天皇皇后両陛下帛琉共和国御渡航還幸啓 奉告祭
- 4月14日 道明寺天満宮南坊城名誉宮司他参拝
- 4月24日 「U・D・O・R」奉納コンサート (二日間で二〇〇名参加)
- 5月3日 新田原基地司令参拝
- 5月5日 節句祭・いさみ太鼓奉納
- 5月5日 日南海岸国定公園指定60周年記念奉告祭・同祭典
- 5月29日 敬神婦人会総会
- 6月1日 雲仙市長、熱海市長参拝
- 6月1日 広島東洋カープ元投手鵜村氏参拝
- 6月30日 大祓式
- 7月5日 古川代議士、濱中日南市議が海岸参道崩落箇所視察
- 7月6日 日南地区産業安全祈願祭
- 7月19日 天真会剣武奉納
- 7月31日 九州高等学校公民科教育協議会宮崎大会参加者参拝
- 8月3日 抜穂祭
- 8月9日 國學院大學小川教授、宮崎県文化財課野添氏参拝
- 8月14日 高良大社奉賛青壮年会渡辺顧問同夫人参拝
- 8月22日 生目地区神職総代会五二名参拝
- 9月11日 書家寺原聖山氏他参拝
- 9月14日 高波で亀石の注連縄が流される
- 9月14日 大分県春日神社第一班研修旅行参拝
- 9月17日 大分県春日神社第二班研修旅行参拝
- 9月24日 敬神婦人会、ジャカラング広場植栽
- 10月15日 太成殿本宮高見津宮司他参拝
- 10月17日 神嘗奉祝祭、神嘗祭通拜式
- 10月17日 日南市姉妹都市の那覇市副市長他四名参拝
- 10月19日 第七回鵜戸さん寄席
- 10月28日 敬神婦人会三社参り
- 11月3日 明治祭、秋の縁日大祭、誕生感謝奉告祭
- 11月5日 宮城県秋保神社高山宮司他二十四名参拝
- 11月5日 表千家同門会全国大会「宮崎大会」
- 11月5日 表千家十四代家元千宗左宗匠一行参拝
- 11月14日 兵庫県湯泉神社別所宮司他総代五名参拝
- 11月17日 桃山陵墓管区事務所長他参拝
- 11月19日 海上自衛隊掃海隊航海訓練安全祈願参拝
- 11月23日 新嘗祭
- 12月23日 天長祭
- 12月27日 亀石注連縄張替へ、絵馬架替へ
- 12月31日 大祓式、除夜祭

命名

宮崎県 一井 絢太 様
 (平成二十六年十二月二十日生)
 愛知県 中村 栄翔 様
 (平成二十七年八月十九日生)

ご結婚おめでたう
 いっしょにいます

宮崎県 岩満 敦紀 様
 マクルア シャーロン様
 (平成二十六年十二月二十七日)
 東京都 深水 秀任 様
 城 千恵 様
 (十二月二十八日)
 福岡県 上田 大造 様
 中村 愛 様
 (平成二十七年一月十五日)
 宮崎県 藤岡 照幸 様
 新名 亜希子様
 (二月二十一日)
 神奈川県 番場 健太 様
 長渡 明日香様
 (四月二十八日)
 宮崎県 谷口 義人 様
 谷口 美由紀様
 (五月十六日)

宮崎県

安藤 祐一郎様
 猪崎 こころ様
 (八月二十九日)

宮崎県

先立 翔吾 様
 中武 志歩 様
 (十月三十日)

宮崎県

尾添 雅弘 様
 江川 菜実 様
 (十二月二十八日)

結婚式のご案内

鵜戸神宮では、ご希望により、ご本殿でも挙式を齎行できます。お気軽にお問い合わせください。

挙式初穂料

儀式殿 五〇、〇〇〇円
 ご本殿一〇〇、〇〇〇円



伊勢の大麻(御神札)をお受けしませう

○新年には地元の氏神様、もしくは当神宮で新しい神宮大麻をいただき各家庭におまつりください。

《賀正》

宮司 本部 雅裕
 権宮司 中武 信明
 禰宜 河野 博文
 禰宜 伊東 健治
 権禰宜 淵田 賢二
 権禰宜 中原 慎太郎
 権禰宜 高橋 嘉樹
 権禰宜 磯野 英志
 権禰宜 佐師 慶保
 権禰宜 安藤 祐一郎
 斎女 徳地 亜紀
 斎女 福山 詩織
 巫女 川口 真美
 巫女 宮本 枝里架
 巫女 谷口 綾香
 巫女 築島 里沙
 巫女 大嶺 麻鈴
 巫女 本部 明歩
 巫女 岩下 香奈恵
 衛士 湯浅 好一
 衛士 長友 英樹
 衛士 後藤 秀樹
 衛士 川瀬 真
 宮務員 南 部 初代
 宮務員 清美 代子
 宮務員 山下 ふみ子

編集後記

○社報八十一号をお届けします。
 ○昨年の六月中旬に長雨の影響で、市道鵜戸参宮線が一部陥没し、同月十八日から車両通行止めとなりましたが、仮復旧工事を行ひ七月十日に、通行可能となりました(四トン未満通行可)。本復旧に向けて起工式を齎行し、今年には完了予定です。
 ○昨年末に、地元紙の読者投稿欄に、当神宮を日南市の「誇り」として寄稿され、職員一同ありがたく拝読しました。
 ○参拝の際にお声掛け頂ければ、洞内をご案内致しますので、お気軽にお申し出下さい。
 ○新しい年が良き年でありますやう、皆様のご多幸を鵜戸の宮居よりご祈念申し上げます。

(中原)

